



揚水試験の様子

左水配水池(600<sup>m</sup><sub>3</sub>)

満水位標高:285.00m

「左水水源地・左水配水池築造(忌部地区水道整備事業)」  
平成5年(1993年)～9年(1999年)

忌部地区は、市の水瓶である両ダムを有する水源地であったが、地区の標高が高く千本配水池(HWL106m)から給水できる範囲は、忌部小学校下までであった。

平成に入り、創設期にW・K・バルトン氏が水源調査を行った左水水源(標高:280m)の地下水日量1,000<sup>m</sup><sub>3</sub>を活用し、農業集落排水事業との同時施工により、東忌部町・西忌部町2,600人に給水する忌部地区水道整備事業を計画、厚生労働大臣の認可を得、事業に着手した。

事業内容

左水水源地(深井戸2本 φ200×30m、φ200×50m)

左水配水池築造(有効貯水量600<sup>m</sup><sub>3</sub>)

送配水管敷設(φ50～φ150×約13,000m)